

コロナの影響下で再発見した PTA の意義

滋賀県高 P 連会員の皆様におかれましては、日頃の活動に多大なご協力を賜り、誠にありがとうございます。特に昨年度は新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、各種の活動が延期・中止を余儀なくされる中、力を合わせて協議・対応をしてくださいましたことを重ねて御礼申し上げます。

昨年度は PTA 研修全国大会（島根）が延期、近畿大会（奈良）が中止（DVD 配布）となりました。今年度の全国大会（島根）は無観客・オンラインでの実施の予定、近畿大会（大阪）は令和 4 年度への順延が決定されております。このことを受け、令和 4 年度に開催予定だった滋賀大会は令和 5 年度に開催されることになりました。

さて、私自身、高 P 連会長という重責を拝命して 1 年が経過しました。その中で高校教育における保護者の役割の重要性を感じた 1 年でした。緊急事態宣言下であって、先生がたは学びを止めないよう、寸暇を惜しんで対応・準備に打ち込んでくださっていました。その後もオンラインでの教育のあり方を検討し、予期しきれぬ事態に少しでも対応できるように尽力してくださっています。リスク管理という言葉が、当然のように使われる昨今ですが、リスクというのは管理できないからリスクなのであって、あらかじめあらゆるリスクを管理しようとしすぎると何も行動できなくなります。そして、今度はそのことが別のリスクとなるのです。私たちに求められるのは、過度なリスク管理意識ではなく、予期せぬ事態が生じた際に迅速かつ（なるべく）適切に対処することではないでしょうか。そのために PTA 活動を通じて学校と保護者が連携し、然るべき時に必要な体制を取れる準備を整えておくことが大切だと考えています。

今年度は可能な限り活動を実施し、昨年より少しでも PTA 会員相互の連携を強め、より協力的な体制を整えられたらと思っております。県内各ブロックでの研修会などの開催を予定しておりますので、是非ともご参加いただき、会員同士の交流を深めていただきますようお願い申し上げます。